

市民国際プラザ・ダイジェスト

第70号（2015年12月28日発行）

一地域に飛び出す市民国際プラザ

○グローバルフェスタJAPAN2015 飛び出すプラザ！

日時：2015年10月3日-4日 10:00-17:00 場所：お台場プロムナード公園

詳細：http://www.plaza-clair.jp/event/event151003-04_report.html

市民国際プラザは、10月3日（土）、4日（日）の2日間、お台場センタープロムナードで開催されたグローバルフェスタJAPAN2015に出展をしました。ブースでは、多言語アプリ、モデル事業、また自治体が取組む国際協力の事例として北海道 滝川市が行う農業技術移転及び研修生受入れの取組み、千葉県南房総市が行うベトナムへの道の駅技術提供の取組み、日本ではじめてフェアトレードタウンの認定を受けた熊本県 熊本市の紹介を行いました。また、フェイスペインティングが好評で、小さなお子様とその親御さん、学生に至るまで多くの方に楽しんでいただき、お陰さまで大盛況の2日間となりました。



○サステナビリティ円卓会議～日本における持続可能な開発目標(SDGs)を考える～

日時：2015年10月14日 15:00-17:00 場所：地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)

2015年10月14日、今年9月25日に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)について理解を深め、今後国内でどのような政策や活動が期待されているか、各地での取り組みにどのような関係が生じるか、持続可能な地域づくりに向けた意見交換のための会議が地球環境パートナーシッププラザで開催されました。外務省、環境省、自治体、NGO、労働組合、ユースなどのマルチステークホルダーによる講演とパネルディスカッションが行われ、SDGs達成に向け、どのように各セクターが足並みを揃えて進むべきかについて話されました。



○スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム スポーツによる国際貢献事業をバックアップ

日時：2015年11月12日 9:00-10:00

場所：スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局

2014年から2020年(東京オリンピック招聘)までの7年間で開発途上国をはじめとする100カ国以上・1000万人以上を対象に、日本政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業を実施しています。

会員団体が実施するスポーツを通じた国際貢献事業・国際交流事業を、会員団体からの事前申請に基づき、運営委員会で、「SPORT FOR TOMORROW認定事業」として認定し、ロゴやバナーの提供によってムーブメントを世界に広げていく取り組みをしています。福岡県が「運動会」と「プロサッカー選手によるサッカー教室」というスポーツ国際交流プログラムを実施し、初の地方公共団体による認定事業となった事例もあります。アジア太平洋33カ国から集まった210名の「こども大使」が言葉や文化を超えてスポーツでの交流を行ったそうです。国際交流は地域の子供達にとっても貴重な経験となることから、細く長い支援により好循環が生まれることを期待しているそうです。



市民国際プラザ・ダイジェスト

第70号 (2015年12月28日発行)

○株式会社エイチ・アイ・エス スタディツアーによるNPO/NGOとの連携を推進

日時: 2015年11月12日 11:00-12:00

場所: (株)エイチ・アイ・エス

H.I.SではNGO・NPO、学生団体、教育機関、企業など様々な団体組織に向けてスタディツアーの展開を勧めています。NPO/NGOとの連携をはじめ、企業の「CSR」や「ES(従業員満足)の向上」、「社員教育」など、目的に応じてNGO/NPOとのマッチングやコンテンツの提案を実施しています。これまで、地方自治体とNPOが協働して、先進事例を学びに行くツアーも実施され、参加自治体の国際交流促進と人材育成に繋がったそうです。

○地域国際化ステップアップセミナー@京都 地域を担う人材の教育・育成と循環

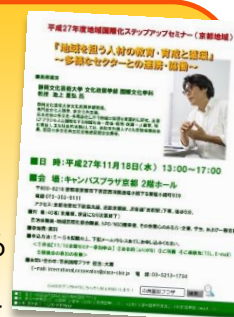
日時: 2015年11月18日 13:00-17:00

場所: キャンパスプラザ京都 ホール

詳細: http://www.plaza-clair.jp/event/event151118_report.html

今回のセミナーは『地域を担う人材の教育・育成と循環』～多様なセクターとの連携・協働～をテーマに実施しました。基調講演では、静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 教授 池上重弘 氏より地域を担う第二世代の成長と活躍について、浜松を例に具体的な事例を持ってご紹介いただきました。

また、事例発表においては、岐阜県可児市 可児ミッションによる「外国人コミュニティに寄り添う教育支援」、静岡県浜松市による「外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業の取組み」、また東京都品川区 さぼうと21による「地域で育った外国にルーツを持つ子どもたちの活躍『支援される側』から『支援する側』へ」では支援を受けた当事者との掛合い形式で発表が行われました。最後は、次世代へ繋げるにはどうしたらいいか、持続可能な循環型社会の構築について考えました。



○多文化共生センターきょうと 京都の医療通訳について

日時: 2015年11月19日 14:00-15:00

場所: 多文化共生センターきょうと

多文化共生センターきょうとでは、医療通訳分野において非常に先進的に活動をし、多言語科目問診(8診療科)システムなど、和歌山大学システム工学部吉野研究室と共同開発しています。

また当団体は、京都市、(公財)京都市国際交流協会と協働して京都市内4つの病院で英語、中国語、韓国語の医療通訳を派遣しています。

自治体における医療通訳の対応や不足についてもご意見を伺ったところ、何が良いとは一概には言えず、各地域ニーズをきっちり整理した上で、その地域にあったサービスを可能な範囲で実施すればいいのでは無いかということでした。

市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために、
市民国際プラザのFacebookに「いいね!」をお願いします♪
現在の市民国際プラザ「いいね!」数 387件

(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail international_cooperation@plaza-clair.jp